



## 会からのお知らせ

### ○ 平成24年7月 定例役員会

日時： 平成24年7月7日（土） 14:00～16:30  
場所： 市民センター 2階 第4会議室  
17時から「丸藤」で誕生会が行われます。

### ○ 7月、8月合同お誕生会（担当幹事 滝川桜子）

日時： 7月7日（土） 17:00～19:00  
場所： 割烹「丸藤」久米川駅南口から徒歩1分  
電話 042-395-5646  
会費： 3,000円

7月、8月生まれの方は、このお誕生会へご参加ください。お待ちしております。（2か月合同のお誕生会開催となりますため、8月お誕生の方もこの7月7日にお誕生会の実施となりますのでお間違えのないようご注意ください。）

尚、誕生月ではないが誕生月の方をご一緒にお祝いしてくださる方のご参加も歓迎いたします。また誕生月該当者の方で、下記されていない方は担当幹事までご連絡ください。

#### ☆ 7月度お誕生の方々（敬称略 18名）

秋山 剛、小野浩一、川合宏幸、北野二郎、紅松 喬、小出孝子、幸田瑞雄、高橋一彦、  
長島文夫、藤田洋司、高部素行、高鷲 近、田邊正史、富塚哲夫、鍋島高明、松永常尚、  
三宅良太、横尾正宏

#### ☆ 8月度お誕生の方々（敬称略 12名）

阿部 茂、市川久美子、大塚美穂、小林 傳、高柳忠正、辰巳慎次、南湖修一、野田 数、  
野中昭夫、林 基樹、福田昇七、山下邦康

### ○ 他稲門会関係

6月 2日（土） 武蔵野稲門会総会 吉祥寺東急イン 15時30分  
三宅相談役出席

6月10日（日） 国分寺稲門会総会 国分寺Lサロン 16時30分  
小亀会長・福田副会長出席

6月23日（土） 東大和稲門会総会 ビッグボックス東大和 13時30分  
小亀会長・大内幹事出席

### ☆☆大学関連ニュース☆☆

### ○ 中野国際コミュニティープラザ起工式

中央線「中野」駅近くの建設予定地で、2014年度のオープンを目指して建設される中野国際コミュニティープラザの起工式が3月8日行われた。この施設は早稲田大学の教育研究機能を活かして、地域社会に開かれた生涯学習の場作りを提供します。

また、2階～11階には、日本人学生と外国人留学生とが混在する環境で相互理解や国際感覚を深める取り組みを行うため、約870名の学生寮機能を持たせます。

### ○ 早大生「恋愛」を学ぶ

「恋愛学入門」という講座が人気を集めている。人が恋に落ちるメカニズムを、政治学、社会学、生物学などさまざまな学問領域から考察。少子化現象の解明と解決策を示すとともに、実践にも役立つ「恋愛のすゝめ」だ。オープン科目として始まったが、受講希望者が殺到し、244人の定員に850人が応募した。講義は全15回。今後は「キスの値段」「なぜ初恋相手と結婚してはいけないのか」「恋愛市場の分類」などのテーマが予定されている。果たして早稲田の杜にカップルが増えるのでしょうか。

## ○2012年稲門祭 10月21日(日)に開催！

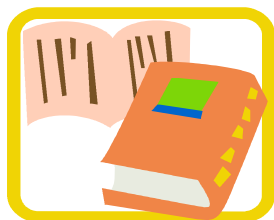
稲門祭は、早稲田大学の校友会主催、早稲田大学公認の58万校友のための年一度の祭典です。ホームカミングデイ記念式典に引き続き開催されます。この日は、第一線で活躍する校友による音楽祭、トークショーなど、さまざまな企画が準備されています。

同時に稲門会は、後輩である現役学生の支援の機会でもあり、稲門祭の記念品販売の収益は「稲門祭奨学金」として、在学生に給付されます。昨年度は、総額1,360万円、34名の奨学生が誕生しました。

この稲門祭記念品には、高級乗用車・海外旅行・テレビなどの豪華景品が当たる福引券がついており、皆さんが楽しみにしています。我が東村山稲門会では、過去2回、高級乗用車が当たっています。「二度あることは三度ある」といわれます。今年は、あなたの番かも…… 皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

稲門祭記念品の販売は、東村山稲門会では来月(7月)より本格的に実施します。(記念品のパンは、今月の『稲門会ニュース6月号』と一緒にお届けします。)

記念品ご購入のかたは、大内、野田直、高鷲までご連絡ください。



### 「論語との出会い」

額田伊久夫 (S31理工)

国語が受験科目に無いと謂う理由で、理工学部を受験した私が論語に就いて何か書く事は場違いと承知しておりますが、ボケ防止には声を出して本を読む事が有効と聞きましたので、年金生活者と成ってから論語を可能な限り少しずつ音読しています。(残念ながら、目立った効果は感じられませんが) 何もしないよりはましかと信じて続けています。実は私の学んだ小学校は明治元年駿河国(静岡県)沼津に徳川家達によってフランスに倣って幕臣の江原素六、西周(初代校長)等が図って開校された沼津兵学校の附属小学校です。残念ながら兵学校は明治5年に政府の陸軍兵学校との統合の為東京へ移転されたが、附属小学校は、沼津第一小学校として残り現在に至っています。多分寺子屋でなく、近代的な小学校として開校された学校としては日本最古と自負しています。各学年のクラスの名前は、一組、二組でなく、入学時は何を言っているか全く解らなかったが、論語に関連した 仁、義、礼、智、信、誠でした。小学校入学と同時にこの漢字と其の意味を覚えさせられ、幼児体験として刷り込まれた記憶が有り、これがボケ防止の音読に論語を選んだ一因です。

論語に就いては、私が利用しているのは、陳舜臣氏著の論語抄(中央公論社)と金谷治氏著の論語(岩波文庫)の2冊です。何れも原文、読み方、解釈が記されて居ります。

前者は題名に抄が有ります故、全二十篇五百拾壺の内、二百拾三の原文、読み方、解釈が記述されています。後者は五百拾壺全ての原文、読み方、解釈が記されています。

内容に就いて感じる事は、我々が常日頃口にしている語彙にはかなり多くが論語から引用されているということです。例えば年齢について、十五歳を志学、三十歳を而立、四十歳を不惑、五十歳を知天命、六十歳を耳順、七十歳を不踰矩。(為政第二)

其の外に、巷間広く知られているフレーズとして、次の様な物があります。

巧言令色 鮮矣仁。(学而第一)

学而時習之 不亦説乎 有朋自遠方来 不亦楽乎 人不知 而不愠 不亦君子乎。(学而第一)

温故而知新 可以為師矣。(為政第二)

君子不器。(為政第二)

君子周而不比 小人比而不周。(為政第二)

等です。まあ無駄な抵抗と考えられますが、これからも、この習慣を続けて行く積りです。

## 5・6月合同「お誕生会」報告



担当幹事 滝川桜子

5月、6月合同お誕生会は、5月12日（土）午後5時から「割烹丸藤」で、お誕生者13名と、お誕生者を祝う役員等の総勢26名の出席者で行われた。会は、南湖さんの司会により小亀会長からのお誕生者へ祝福の挨拶がありました。次のようなお話でした。「年をとると、お誕生日も単に嬉しいというより、寂しいような気もしますが、この日を人生を考える節目の日としたいものです。日本人の平均寿命は世界有数ですが、健康寿命を考えると自慢できるものではありません。貝原益軒は「養生訓」の中で心と体のバランスが大切だと述べていますが、豊かな人生を送るためこのことを考え、来年また、ここでお元気な皆さんとお会いできますのを楽しみにしています。」その後、福田副会長の乾杯の音頭で開会した。そしてしばしの歓談の後、お誕生者にプレゼントが手渡され、いつものように、お誕生者からスピーチを頂いた。5月の誕生出席者は5名で、赤荻洋一、上原正行、滝川桜子、森本 吏、吉田 勝さん、6月は8名で、市川彰彦、井原 徹、大内一男、風間和夫、加藤正俊、塩田典男、當摩照夫、田口政澄さんだった。たまたま出席者の井原さんがお誕生者の年齢に関心を持たれ、今回のお誕生対象者の平均年齢を計算してくださり、終わりに発表されたが、今回出席誕生者平均年齢は70歳だった。

赤荻さんは、積極的に健康診断を受けられ、早期発見により手術をせずにお元気に過ごさせているご経験から、積極的にいろいろな検査を受けて早期発見、早期治療の必要を訴えられた。加藤さんは、たまたま市議員の選挙前に倒れるというアクシデントに見舞われたが、医師も驚く回復ができたので、まだまだ頑張っていくお気持ちが話された。大内さんは、フェイスブックに凝っていて、全国に早稲田縁の74人の友達に関わっているとのこと。若者に負けずに情報機器を使いこなして楽しみながら活発に活動しておいでのようなのである。塩田さんは、この4月1日に練馬から転居、早速に稲門会に入会された。これから様々な行事に参加していきたいとのこと。一番若い（61歳）現役の上原さんは、趣味にも力を入れられ、先ごろ中央区観光協会の写真展に入選して作品は、日本橋三越に展示されたとのこと、風間さんは、最高齢者で81歳になられたが、最近箱根へ出かけ、日本を旅行していた英国人の夫人に出会い、サポートできたご経験談を話された。まだまだご自分は若いと感じられたようである。市川さんは、外国人に日本語を教えるボランティアやオカリナ等の趣味にお忙しく充実して過ごされているとのこと、田口さんは、週2日ボランティアを兼ねて仕事をしていて体力と能力のバランスをよくとって生活を目指してゴルフやスキーは80歳までやっていくつもりとのこと。昨年リタイヤーなさった吉田さんは、ゴルフ、テニス、旅行を楽しむことに忙しく過ごし、愛社精神を発揮して月2回は、後輩の指導に会社に出かけておいでとのこと、66歳の井原さんと65歳の當摩さんは、まだ仕事を頑張って70歳を過ぎたら稲門会で思い切り楽しみたいと先の稲門会活動への抱負を語られた。森本さんは、庭木の思い出という7月ニュース掲載予定のエッセイは、高校時代を思い出して書かれたということで、そのいきさつについて。滝川さんは、臨床心理士で学校や教育相談室で活動し2年前退職。軟着陸的老後生活の動きから、いよいよ老後を自覚し始めた心境についてであった。そして赤荻さんによる写真撮影、井垣さんの音頭で東村山稲門会の歌と校歌を声高らかに斉唱して、當摩彰子副会長の締めの挨拶、司会者南湖さんの先輩方のお元気で、生き生きとしたお姿が、私たち後輩にこれからも健康に留意して元気に過ごしていきたいという励みを与えていくでしょうと、という言葉で誕生会は閉会した。

今回も當摩彰子副会長、小亀会長。森本さんからお酒の差し入れがありました。

（連絡ハガキ欠席者の方々のご近況のコメントから）

森川進さん、安藤恵尉さん、松沢徹さん（青葉町、4丁目ポストマン）：仕事の都合で欠席します。皆様によりしくお伝えください。重原真知子さん：孫の結婚式で仙台に行く為欠席します。来年を楽しみにしています。守川浩一郎さん、當摩光子さん：残念ですが、他の集まり重なった為欠席します。吉本正典さん：骨折リハビリ中のため欠席させていただきます。津野慶浩さん：病み上がりで無理ができないので欠席します。

安田忠治さん：自分が主催する会の集まりと重なり欠席します。会長初め皆様によりしくお伝え下さい。

（その他ご近況）：野村茂樹さん：テニス同好会には月、1回参加しています。比留間光信さん：週2回スポーツセンターで体を鍛えています。



## 方丈記を読む

小亀輝雄（S34商）

東日本大震災から1年以上の月日が過ぎ去った。この間テレビの画面から恐ろしい津波の映像が再三映し出され、一瞬のうちに愛する家族や、家を失う様子を見て「無常」というようなことを感じていた。

たまたま今年は鴨長明の「方丈記」が書かれてから800年に当たる記念の年で、武蔵野大学で方丈記の講座があるのを知り、講師の松村先生が早稲田の卒業生であることにも親しみを感じ、妻と5日間三鷹の教室に通った。高校生の時読んだ記憶はあるが、出だしの「ゆく河の流れは絶えずして……」しか覚えておらず、全部読み通したのは初めてである。受講者一同で音読する等、久しぶりに学生時代に帰り、楽しいひと時を過ごすことが出来た。長明といえば無常観の神様のような人で、方丈の庵（約3メートル四方のプレハブ住宅）に住み、世捨て人のような生活をしていた人だと思っていたが、今回「方丈記」を読んで、長明は無常観を抱きながらも、大火や地震等の災厄をつぶさに記録し「無常」を直視し脱すべき方途を思索した。そして最後に世捨て人の生活の良さをつづってきた長命が「無常観に執着するの仏の教えに反する、いっさい執着してはいけないのだから、無常観に執着してもいけない」と自己批判し、無常観を抱きつつ積極的に生きようという姿勢を示していることが分かった。

わが国は世界の地表面積のわずか0.25%でありながら、マグニチュード6以上の大地震の20%が日本で発生している。日本に住むことは、そういう危険な国に住んでいるということなのである。1995年の阪神大震災の17年後に今回の災害が起き、私たちは決して磐石な文明の上に生きているわけではなく、これだけ科学技術が進んでも勝てないものがあるということを強く感じ、こういうことから無常観を持ちやすい。だからといって、諦めの気持ちで、なるようにしかならないと自暴自棄に生きていくことは出来ない。長明は天変地異にただ怯えたり震えたりしたわけではない。地位に恵まれない悩みを抱えながら、和歌の研鑽を積み歌集も編んだ。「方丈記」を書く前年、1211年（建暦元年）には鎌倉まで出かけている。

私たちも長明の生き方を学び、震災を予期した無常観を抱えながらも、過去の災害を検証し、出来るだけの準備をし、積極的に生きていかなければならないと思う。特に若い人達には、いわば積極的無常観とも言えるべき生き方が求められているのではないかと。「方丈記」を読んでこんなことを考えた5日間であった。

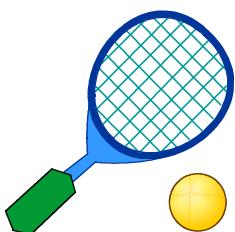
長明が父上を亡くした時に詠んだ歌に「春しあれば ことしも 花は咲きにけり 散るを惜しみし ひとはいずらや」があります。大震災で家族を亡くした方々を思うとこの歌が心に沁みました。

### 同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

### テニス同好会

世話人 田島 隆夫



5月の例会は、26日（土）に五月晴れの運動公園Aコートにて行われた。

久しぶりにテニスをすると言う人も多く、2時間は瞬く間に過ぎた。

休憩時間には、東北の被災地へボランティアに行ったことや福島第一原発のことなどが話題となっていた。

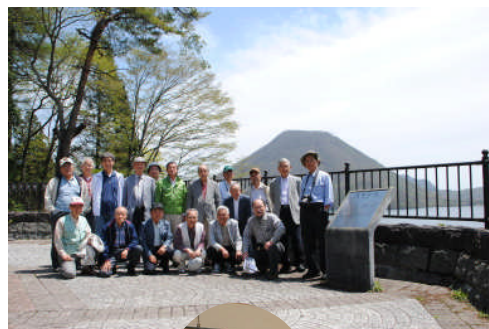
参加者（敬称略） 滝来（京）、當間、戸田、野田夫妻、田島

## 旅行同好会

世話人 高橋 正夫・青山 稔  
赤荻 洋一・額田 伊久夫

昨年は大震災のため中止した旅行会を復活しました。参加人員は19名で、5月16・17日の両日、天気予報が都合よく外れて五月晴れの好天に恵まれました。東村山東口を8時に出発、風薫る新緑の景色を愛でながら、最初の観光スポットの榛名湖で湖畔の宿の記念碑のあたりを散策後、湖畔に面したレストランで昼食をとったあと伊香保温泉を通して天台宗の古刹である水沢観音に詣でました。(本尊は十一面千手観世音菩薩)その後、今ホットな話題の八ヶ場ダムに水没する川原湯の周辺の地形を眺めながら、八ヶ場ダム資料館に立ち寄り工事全体の概要を確認するとともに、保留の懸案でも着々と工事が進められていることを知りました。バスの車中が盛り上がるまでに4時に草津温泉の「ホテル高松」に到着。ゆっくりと草津の湯の感触を堪能したあとは、江藤さんの乾杯の音頭で始まった懇親会が和やかに盛り上がり、そのまま2次会へ。小亀会長差し入れの日本酒・岡田副会長差し入れの甕の焼酎などを酌み交わしながら11時過ぎまでみなさんの話題は尽きませんでした。

二日目はまだ残雪の残る山岳道路の景色を楽しみながら白根山頂付近の駐車場にバスを止めて、2100m地点のお釜の展望台まで登りました。青緑色の神秘的な湖の景観に感動しました。そのあと、昔の草軽鉄道のあった有料道路を通して白糸の滝で下車。浅間山の伏流水が地表に現れて滝になっています。昼飯は軽井沢の先のインター入り口付近で。そのあと旧道に出て碓氷峠道を下り、昔のアプト式の鉄道が通っていたためがね橋に下車。明治26年の竣工した4連式の高架は重要文化財に指定されており、その壮大な規模から大変な費用を要したことがうかがわれます。帰路、土産店に寄って、5時半に東村山駅に帰着しました。みなさんのご協力でたいへん楽しい旅ができました。感謝です。



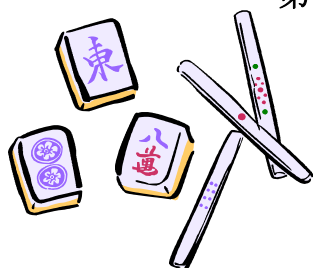
(参加者) 青山・赤荻・井垣・江藤・大内・風間・幸田・高橋・高鷲・戸田・豊田・當間・長井・長野・額田・福田・藤沢・守屋・山本 (敬称略)

(高橋正夫記)

## 麻雀同好会

世話人 小野 智  
松 永 常 尚

### 第57回大会



先にお知らせの如く、下記要領にて開催したく、ご案内致します。

|      |                                                   |
|------|---------------------------------------------------|
| 日時   | 6月24日(日)                                          |
| 集合   | 12時30分                                            |
| 開催   | 13時 (60分4回戦)<br>但し全員集まり次第、始めます。                   |
| 場所   | 麻雀サロン園 TEL 394-4444<br>東村山市本町2-1-15 (東村山駅東口 徒歩2分) |
| 会費   | 4,000円                                            |
| 懇親会  | 3,000円 大会終了後希望者のみ「丸藤」にて行います。                      |
| 締め切り | 6月17日(日)                                          |

既にご案内の如く、この大会は、賞金制(賭金制でない)ですから、初めての方も気軽にご参加下さい。多数皆様のご参加をお待ち致します。

(松永記)

## 園芸の会

世話人 當 摩 照 夫・彰 子

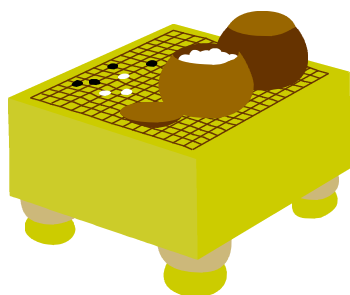


園芸の会は5月11日に春蒔き草花の苗の交換会を行いました。今回はちょっと少なめで9人の出席でしたが、いつもにも増して数多くの苗が持ち寄られました。毎度お世話になる藤澤先輩からは、マリーゴールド、ジニア、ペチュニアなど16種315ポット(!)、當間さんからはトマト、ナスの野菜苗、また池田さんからはよく効きそうな化学肥料をたくさん、さらに長井さん、小林さん、福田さんからも苗が持ち込まれました。それぞれが気に入った苗を選んで完売です。夏に向けてたくさんのお花を咲かせることと思います。

次回の園芸の会は、8月後半にさぎ草の開花株の鑑評会を行う予定です。日程が決まり次第、連絡いたします。是非多くの方の参加を期待いたします。

## 囲碁同好会

世話人 福 田 晃  
高 鷲 近



●6月の「例会」を下記の要領で行います。皆様のご参加をお待ちしています。

日 時 …… 平成24年6月16日(土)、午後1時開始

場 所 …… 市民センター別館 第6会議室

○＜囲碁の効用＞ 人間の脳は、左脳で計算・暗算・理論的機能を受け持ち、また右脳は感覚的・形や空間等の認識、大局的視野での判断力を受け持つといわれています。

人間は、左脳・右脳の両方をうまく使うことが大事なのに、左脳人間が多いといわれています。

囲碁は、特に右脳を使うゲームです。医学的にも囲碁は右脳を刺激し、判断力を高め、ストレス解消に効果があることは、既に認められています。

さらには、ボケ防止、脳卒中のリハビリ・予防面でも囲碁の効能が注目されています。

## 俳句同好会（稲酔会）

世話人 井 垣 和 太



第61回「稲酔」俳句会は4月28日(土) 午後2時から「丸藤」で開催しました。

参加者は、井垣稲雀、出田麦穂、幸田瑞雄、小亀稲生、小永井哲哉、内藤慎、丸本北窓、の7名。投句参加は、栗島三郎、風間和夫、高部糸行、八木竜湖の4名。計11名、55句が出句されました。

兼題「たんぽぽ」の句も10句有りましたが、参加者による互選の結果最高点句には、小亀稲生(輝雄)さんの下記の句が選ばれました。

合格の掲示板横辛夷咲く

稲生

第62回は「稲酔」俳句会は、6月23日(土) 午後2時から「丸藤」2階で開催予定です。兼題は「金魚」一切(和金、出目金、琉金、金魚鉢など)です。

生涯の今の心や金魚見る  
灯してさゞめくごとき金魚かな  
金魚大鱗夕焼の空の如きあり

虚子  
蛇笏  
たかし

(稲雀記)

## カラオケ同好会

世話人 内藤 慎



5月例会は5月12日開催。寒暖入り混じる気候でたまたま寒い日でしたがメンバー元気に歌い込みました。

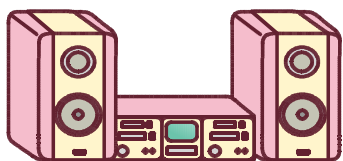
高部氏、滝川氏のお二人が体調不良で療養中で参加が叶わず寂しいので、早く回復、参加される様祈願いたします。

参加は井手、井垣、石坂、高鷲、南湖、内藤の各氏6名。12月の大会は熱戦が期待されます。皆様のお出でを御待ちします。

〈今後の予定〉

6月9日(土) 19時10より カラオケランド ズー

7月7日(土) 19時10より カラオケランド ズー



## 「オーディオにおけるデジタル化の功罪」

山室 勲 (S31理工)

1950年代の電化製品は全てアナログ機器であった。勿論テレビなどない時代であり、家庭における唯一の娯楽機器といえば電蓄(ラジオとレコードプレーヤーが一体となったもの)であった。レコードはSP盤が主でLP盤が出始めた時代である。しかし所得の低いこの時代では電蓄やレコードの価格が高く、一般庶民はなかなか手が出せなかった。この頃秋葉原や下北沢など電子部品を売る店が軒を連ねていて、オーディオの好きな若者がここで電蓄用の部品を調達して自分好みの電蓄を作って楽しんだものである。小生もこの中の一人で、知人の要請の応じて色々なタイプの電蓄を原価すれすれの値段で製作し、稼ぎは少なかったが小遣いの足しにしたものである。

その後本格的なLPレコード時代に入り、ステレオレコードの普及のため全国各地で講演会を兼ねたレコードコンサートを開催し、各地の郷土料理に舌鼓を打った思い出が懐かしい。この頃のステレオシステムの音質はシステムに使用する全ての部品のリニアリティが音質とかかわりを持っているので、部品夫々の品質の向上に精力を注いだものである。例えば信号を通すコンデンサー、レコードのアナログ信号を読み取るフォノカートリッジ、読み取ったアナログ信号を増幅する真空管(後にトランジスター)、最後に音を出すスピーカーなどである。要するに扱っている音響信号がアナログ信号であるために、全ての部品のリニアリティが直接音質を決めることになり、部品を一つ取替えても音が変わる、また部品の組合せによっても音が変わる、ということで各社の部品開発競争が激しい時代であった。従って音響技術者の耳に頼った商品開発が行われてそれなりにやりがいのある時代であった。

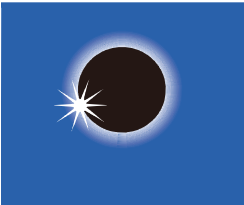
また消費者の側では、例えばフォノカートリッジやスピーカーを演奏曲目によって交換したり、回路部品を変えてみたりする楽しみがあり、オーディオ談議に花を咲かせることもしばしばであった。

ところが現在はどうであろうか。アナログ記録のLPレコードが、デジタル記録のCDになったことにより、ステレオシステムの入口から、音を出すスピーカーの手前までデジタル信号で処理されることになり、素人が手を出すところが無くなり、唯一スピーカーだけが音質を支配するアナログ部品として残ったのである。テレビにおいても同様に、映像信号がデジタル化されたため、表示部品として最も重要な液晶などのディスプレイのみがアナログ部品(パソコンも同様)として残ることになったのである。

オーディオにおけるデジタル化はオーディオをこよなく愛するオーディオマニアと称される人たちの楽しみを剥奪すると共に、彼らの創造的思考を発揮する場を奪ってしまうことになった。人間を含めてあらゆる生物はアナログの世界に住んでいるのであり、デジタル技術による人間性への挑戦に振り回されてはならない。

| 同好会等 短期予定表                                 |    |   |             |               |     |    |   |            |           |     |
|--------------------------------------------|----|---|-------------|---------------|-----|----|---|------------|-----------|-----|
| 同好会・行事                                     | 6月 |   |             |               |     | 7月 |   |            |           |     |
|                                            | 日  | 曜 | 時間          | 場所            | 備考  | 日  | 曜 | 時間         | 場所        | 備考  |
| ウォーキングの会                                   | —  | — | —           | —             |     | 22 | 日 | *          | *         |     |
| 郷土史の会                                      | —  | — | —           | —             |     | *  | * | *          | *         |     |
| テニス同好会                                     | 10 | 日 | 11:00～13:00 | 久米川コート3       |     | 14 | 土 | 9:00～11:00 | 久米川コート3   |     |
|                                            | 17 | 日 | 11:00～13:00 | 久米川コート3       | 予備日 | 15 | 日 | 9:00～11:00 | 久米川コート3   | 予備日 |
| 囲碁同好会                                      | 16 | 土 | 13:00～      | 市民センター別館      |     | —  | — | —          | —         |     |
| カラオケ同好会                                    | 9  | 土 | 19:10～      | カラオケランドブー     |     | 7  | 土 | 19:10～     | カラオケランドブー |     |
| 園芸の会                                       | —  | — | —           | —             |     | —  | — | —          | —         |     |
| 麻雀同好会                                      | 24 | 日 | 13:00～      | イトーヨーカドー隣サロン園 |     | —  | — | —          | —         |     |
| 音楽同好会                                      | *  | * | *           | *             |     | *  | * | *          | *         |     |
| 俳句同好会                                      | 23 | 土 | 14:00～      | 「丸藤」2階        |     | —  | — | —          | —         |     |
| ゴルフ同好会                                     | —  | — | —           | —             |     | —  | — | —          | —         |     |
| 早稲田スポーツ応援の会                                | 2  | 土 | 11:30       | 神宮球場6番ゲイト前    |     | —  | — | —          | —         |     |
| 雑学講座                                       | 9  | 土 | 15:00～16:30 | ふるさと歴史館       |     | —  | — | —          | —         |     |
| —：対象月に開催予定無し　*：ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。 |    |   |             |               |     |    |   |            |           |     |

編集局だより



○金環日食を見ました。「世紀の天体ショー」などと騒ぎ過ぎと思わなくもなかったのですが、乗せられて専用グラスも用意し待っていました。で、やっぱり見て良かった、楽しめました。もちろん日食の始めから終わりまで見ていたわけではなく、途中の部分日食を少しと金環食はしっかり。でも、専門家やマスコミなどは別にして一番楽しみにしていたのは子供たちかもしれませんね。そして一番見てほしいのも子供たちです。滅多にない機会でもあり、実際に見たらそれはそれで貴重な体験になるでしょうから。その感動が後の人生を決めることになるかもしれません。6月6日には太陽の前を金星が横切る様子も観測できるそうです。これも気に留めて置きましょう。

○次号の原稿締め切りは6月23日（土）です。よろしくお願いいたします。（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

|                              |                        |                        |                      |                                       |                                         |                                      |                                        |                                         |                                        |                                          |                                     |                                       |       |
|------------------------------|------------------------|------------------------|----------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-------|
| 木の芽風静かに動く象の耳<br>予備の鍵探す暗やみ沈丁花 | 台北の夜市に降りし熱帯夜<br>小永井 哲哉 | 休講の掲示がありて風薫る<br>小 亀 稻生 | 初蟬や剪定の枝に殻残し<br>幸田 瑞雄 | 薄靄に遠く榛名の山桜<br>見るからに秘密基地めき燕の巢<br>幸田 瑞雄 | サンダルで仰ぐ金環食の空<br>出るからに秘密基地めき燕の巢<br>幸田 瑞雄 | 母の日は母の命日風来る<br>若葉揺れ金環日食地に映す<br>菊田 一平 | 耕人の白根山雪形屋根越しに<br>白糸の瀧織り成して若葉風<br>出田 麦穂 | 両岸をまたぎ風切る鯉のぼり<br>街行くも久方振りの薄暑かな<br>井垣 稻雀 | 鮎竿のしなひ確かむ解禁前<br>冷し酒五臓六腑を突き抜ける<br>栗島 三郎 | 柏餅電車見ながら食べてゐる<br>青すだれ赤の薄れたかなめもち<br>八木 竜湖 | 忍冬白き花抱き時を待ち<br>水馬速き流れの草に寄り<br>丸本 北窓 | 茶摘女の話す噂が風で切れ<br>忙し気に餌運ぶツバメ雨催い<br>内藤 慎 | 高部 糸行 |
|------------------------------|------------------------|------------------------|----------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-------|